

天理ギャラリー 第178回展

2023
2/18 (sat)

4/1 (sat)

物部氏の巨大古墳

塚穴山古墳の歩み



写真：塚穴山古墳の石室

Tenri Gallery

開館時間 午前9時30分～午後5時30分
(入館は午後5時まで)
休館日 毎週日曜日
入館料 無料

<http://tokyotenrikyokan.co.jp/gallery/>
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町1-9 東京天理ビル9階
電話 03-3292-7025
<https://www.sankokan.jp/> (天理参考館ウェブサイト)

天理ギャラリー 第178回展

物部氏の 巨大古墳

塚穴山古墳の歩み

奈良県天理市の市街地には、古墳時代には古代豪族物部氏が暮らしていました。そのため彼らが暮らした集落の遺跡である布留遺跡があり、また日本最大の前方後方墳である西山古墳や巨石を用いた横穴式石室がある東乗鞍古墳など、数多くの大型古墳が残っています。そのひとつである塚穴山古墳は、古墳時代終末期の大型古墳として墳丘、横穴式石室ともに飛鳥の石舞台古墳に匹敵する規模を誇ります。しかし古い時代に破壊されたために、副葬品など詳しいことは分かっていません。

昭和39年に、天理大学附属天理参考館によって塚穴山古墳の発掘調査が行われました。その時の記録や出土品を見ると、塚穴山古墳は当時最大規模の古墳として築かれた後、古代から中世、そして近世に至る長い間、祈りの場や葬地として利用されていたことが分かります。特に中世の遺物と遺構は、大和の中世史の一端を物語ると言っても過言ではありません。

本展では天理大学附属天理参考館に残る発掘調査の出土品と写真、図面から塚穴山古墳の歴史をたどります。古代豪族物部氏の栄華と、その後の集落の歴史をご覧ください。



塚穴山古墳出土石棺



塚穴山古墳出土羽釜



塚穴山古墳の石室



塚穴山古墳出土土人形



塚穴山古墳出土火消壺形蔵骨器

展示解説

講師：天理大学附属
天理参考館学芸員
日時：2月18日(土)
13時30分から

主な展示品

天理市蘆山古墳出土品
天理市東大寺山古墳出土品
天理市布留遺跡出土品
天理市塚穴山古墳出土
土器・石棺・蔵骨器・
土人形・古銭・石造物

会場 開館時間 午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで)
休館日 毎週日曜日
入館料 無料

アクセス JR・東京メトロ神田駅より西へ約500m
東京メトロ新御茶ノ水駅より南へ約600m
東京メトロ淡路町駅・都営地下鉄小川町駅より南西へ約500m

天理ギャラリー



〒101-0054
東京都千代田区神田錦町1-9 東京天理ビル9階
電話 03-3292-7025
<http://tokyotenrikyokan.co.jp/gallery/>
<https://www.sankokan.jp/> (天理参考館ウェブサイト)

新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止のため、会期を変更する場合や展示解説を中止する場合があります。最新の情報は公式ホームページ (<http://tokyotenrikyokan.co.jp/gallery/>) でご確認ください。

